

# 教育研究業績書

2023年10月23日

所属： 応用音楽学科

資格： 教授

氏名： 岡本 尚子

研究分野	研究内容のキーワード
合唱	合唱指導者養成 社会における合唱の意義
学位	最終学歴
芸術学士	

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<p>1. ISクラス 授業での取り組み～音楽の専門分野に進むための基礎学習の徹底～</p>	2009年4月から2020年3月	<p>ISクラス（音楽学部への進学を希望していた音楽のスペシャリティークラス） 授業は、①専門（主として声楽・器楽・ピアノ・弦）の個人レッスン②声楽および弦の副科として個人ピアノレッスン③聴音（メロディー聴音）④ソルフェージュ・楽典と和音聴音、それぞれの個人レッスン（または2～3人のグループレッスン）である。高校2年生から3年生までの2年間で、大学音楽学部へ進学した際に困らないよう、また他の高校から入学してきた学生と差が生じないように教育に配慮した。このコースの設置により、毎年開催される兵庫県独唱独奏コンクールでは、声楽・ピアノ分野において、各校2名の出場枠が3名に増え、本校からはほぼ毎年、金賞・銀賞・銅賞などの入賞者を輩出している。</p>
<p>2. IEクラス 授業での取り組み～教育者を目指すために学ぶ音楽教育～</p>	2009年4月から2020年3月	<p>IEクラス（教職へ進路希望のクラス） 将来、保育士・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の教員を目指す高校2年生、3年生のクラスである。それを踏まえて、選択音楽の生徒の音楽に加え、さらに教職のための学習を行った。まずは、私自身が26年間尼崎の公立中学校の教員であったことから、生徒たちの実態、公立中学校での教育方法、教員採用試験の内容、地域との関わり、保護者との関りなどを中心とした内容である。 また、実際に教師になったときに、幼児・児童・生徒を対象にして授業を実践する企画を行った。生徒の多くは、幼稚園・保育所の教員を目指していたので、「先生になってみよう！」という單元の中で、自分が教師になったと仮定して簡単な指導案を作成させた。また全員が実際に幼児・児童と教師の役になって取り組んだ。4分間という設定で幼稚園・小学校・中学校にグループ分けし、生徒1人がそのグループで教師となり、その他の生徒は幼児・小学生低学年・高学年・中学生になり授業を受ける。幼児役、児童役の生徒は、想定される事態を考え発言・行動する。突拍子もない質問や、けんかを始める子たちが出てくると困惑するが、相応の対処を行っている。子供の言動・行動を想定することおよびその対処を考える力をつけている。</p> <p>音楽の授業は、小学校では歌唱・合唱・ソプラノリコーダーに取り組むことが多いことから、歌唱指導、合唱指導を取り入れている。また専科の音楽教師以外は、音楽科を出ていなくてもピアノを習得する必要があるため、本大学の教育学部と音楽学部の先生方に相談し、教育学部が使用しているバイエルの教則本を購入した。大学より一足早くキーボードで（イヤホンを使用）全員が4か月半から半年かけ、レベルに合わせバイエル、ソナタなどを練習した。学期の最後には1人ずつピアノを演奏する成果発表会を行った。また、2学期には選択音楽生徒と同じようにミュージカルにも挑戦</p>

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
3. 武庫川学院音楽教室～教育・指導成果～	2008年から2023年3月	し、発表した。 音楽教室における教育、指導成果① 兵庫県高等学校独唱独奏コンクールにおいては（全国に繋がる県内では最も大きな公的なコンクール）毎年、音楽教室から出場し、金賞・銀賞・銅賞・奨励賞（上位にしか与えられない）を受賞している。これは校内でオーディションを受け、声楽部門、ピアノ部門の2部門で現在は上位2人までが出場できるコンクールである。このことより、本校の音楽教室の質の高さは証明されており、さらに高みへと目指していきたいものである。
4. 武庫川学院音楽教室～運営・指導内容～	2008年から2023年3月	音楽教室における運営・指導内容② 武庫川学院音楽教室は校祖公江先生が立学の精神の元に創始くださった。ピアノ、弦楽器、声楽、ソルフェージュの分野で、それぞれが自分の希望する楽器や音楽の学びを選び、現在個人レッスンで学んでいる。 15年前に前任者より庶務を引き継いだ時に最も改正しなければならぬと感じた生徒の割り振りにまず着手した。生徒の人数を講師に公平に振り分けるやり方は専門分野を伸ばすことにはならないと考え、ピアノを申し込んだ生徒にはピアノ専科の講師に、声楽を希望した生徒には声楽専科の講師に割り振った。専科の講師に割り振ることは困難が生じたが、当然の事だと考え実行した。 また、ソルフェージュも個人レッスンとし（以前はグループレッスン）、個々の進度によってレッスン内容を精査しながら進めていくように改めた。さらに、講師と会員（生徒）の実力向上のために3年に一度「講師更新テスト」を行うこととした。さらに会員もグレードテストを1年間に2度、前期・後期に各1度ずつ行うこととした。これによりいままでも3月に行われる音楽発表会だけの演奏発表から、年に3度目標を持って演奏に取り組むことができるようになった。それに伴い、大学の先生方から全会員に向けて、無料でレッスンをしてくださるといふ申し出をいただき、現在2度のグレードテスト前、音楽教室発表会前の年3回のレッスンが実現でき、充実した内容となっている。
5. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～高校3年間の一貫した取り組み	2006年から現在	高校3年間の一貫した取り組み 高校3年間というのは義務教育を終了し、高度な教育に移行し、社会に貢献し得る女性、人を教育する機関である。社会の中で役に立つ働きのできる人材に育てるためには、人とのコミュニケーション能力が必要であり、自分の持つ能力の中でどの能力を開花させていくかを見極めていく機関でもある。「人は人の中で人になる。」そのためには、人との関わりを持つことが必要である。自分を表現する練習をし、クラスの仲間と協力して一つのもので作り上げる喜びを知り、協調性と協力する学びを体得することができるよう教育内容を見直し進めている。音楽は生きる喜び、生きる力を培う大きな要素であると考えている。情操教育の必要性は誰でも理解しているところだが、アクティブラーニングを通して、情操教育の大きな成果を上げたと考えている。
6. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～高校1年生①	2006年から現在	高校1年生① 歌唱力には個人差があるが、中学生に指導してきたことと基本的には変わらず、個人の長所を伸ばし改善点を見つけ直していくことで、各生徒の実力を上げることを第一とする。また一人一人じっくり見ていくことは時間的に難しいので、短いフレーズを歌わせ、その

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		<p>中で生徒の長所と改善点を即察知し明確にスピーディに伝えて、その場で直していくように心がけている。歌唱に際して大切な正しい姿勢、口の動き(舌や唇)表情、発声、発音などさまざまな基本的なことから専門的な事柄まで、その都度必要な時に教え、実践させる。高校生になると音楽は選択教科であるので、高校1年生では自己表現として自分の最も得意な音楽の分野で「自分を表現」させている。たとえばピアノ独奏、イタリア歌曲独唱、ポップス音楽をCDを流して演奏する、三味線を弾く、音楽に合わせてダンスを創作する、楽器でアンサンブルをする、リコーダーで重奏をする、ピアノ連弾、ピアノ伴奏と歌、ミュージカルの曲を振り付けしながら歌う、ミュージックベルの演奏、ドラム演奏、など。音楽の授業中に一定の時間を与えてアンサンブル練習をしたり独奏演奏の練習を経て発表の日を設定し、皆の前で発表する。鑑賞している生徒たちはそれぞれ演奏者に、その評価を用紙に記入して手紙という形で渡す。手紙をもらった生徒各人は、励ましの言葉や感動の言葉をもらい、勇気づけられたり励まされたりして演奏をして良かったと努力してきたことに安堵する。と同時に、音楽を自分の好きなジャンルで表現出来たことで自信につながったり自己を高く評価することができるようになることから、人前で自分を表現することが少しずつできるようになる。</p>
7. 授業での取り組み～自己表現及び楽典・器楽・ベルカント唱法・合唱の学び～高校1年生②	2006年から現在	<p>高校1年生② 自己表現の演奏は外部から来た生徒には初めてのことで不安もあるだろうが、一生懸命に努力し演奏しているので、演奏のクオリティはかなり高い。特にピアノ演奏や声楽の演奏は、兵庫県の独唱独奏コンクールでも金賞・銀賞・銅賞を取るほどの生徒の演奏であるので大変立派である。この自己表現は、私が公立中学校で36年以上前にスタートしたもので、生徒たちは生き生きと演奏していた。それを、武庫川女子大学附属中学校・高等学校に勤務してからも続けて行っている「アクティブラーニング」の一つである。演奏発表はすべて録画し、のちに選択音楽の生徒全員で自分たちの演奏を鑑賞している。それを見ることも楽しみの一つのようだ。生徒が自主的に自ら喜んで生き生きと取り組む姿は、生きている喜びであり証である。いつか社会に出ても、自分を表現する方法として実践できた一つの経験として彼らの自信に繋がることであろう。楽典は3年間共通の「ミュージックノート」という教材を使い、コーリユープンゲン・コンコーネ・リズム練習などを行い、理論では「音名」(日本語・イタリア語・ドイツ語)「音程」など、少し専門的な学びに入る。簡単な単音の聴音も行う。ボディパーカッションでリズムを楽しく学び、アルトリコーダーでミュージカルの曲を演奏する。特にサミング、タンギング、息の使い方によりレガートに演奏できるように練習を重ねる。歌唱ではイタリア歌曲を使用してベルカント唱法を学び、それを基本として日本歌曲やドイツ歌曲に移行する。合唱は女声合唱(3部)に取り組んでいるが、コロナ禍である3年は、合唱に積極的に取り組めていない。</p>
8. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法及び音楽～高校2年生、ミュージカルからの学び	2006年から現在	<p>高校2年生 高校1年生では個人、または数人までのアンサンブルの演奏であったが、高校2年生では、クラス単位でミュージカル「美女と野獣」に取り組む。ミュージカルなので、配役(ベル、ガストン、野獣、王子、ルミエー</p>

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
<p>1 教育方法の実践例</p> <p>9. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～高校3年生① 専門分野に近づく学び</p>	<p>2006年から現在</p>	<p>ル、ポット婦人など）演出・伴奏者・ダンス振り付け・衣装係・大道具・歌指導・・・など各々が自分の係・役に徹し、協力しなければ仕上がらない。また学年の先生方、クラスやクラブの仲間が鑑賞しに来るため、本校では一つの催しになっている。授業は生徒の自主性、主体性に任せる形を取り、音取り、歌や合唱指導、ダンスの振り付け、演技指導など、自分たちで工夫しながら行う。発声方法や言葉、抑揚、音の間違い、ステージでやってはいけない動きなどがあれば教師はその点を注意する程度に抑え、生徒たちが自ら仕上げられるように指導する。これもアクティブラーニングである。生徒は衣装、ダンス、舞台での動き、ミュージカルのあらゆる要素を自ら考えて作り上げ、作品を観た多くの人からの拍手により大きな達成感を得る。この達成感の繰り返しこそが、生徒の生きる力に繋がると考える。またその演奏の様子をビデオに撮り、後で自分たちの演技を見ることによって楽しみを分かち合い、音楽の楽しい思い出、人生の良き思い出にもなっている。生徒たちのアンケートを見ると全員が「とても楽しかった」「充実して達成感があった」「強い仲間意識が生まれ、クラスの仲がとても良くなった」「やって良かった」という満足度の大変高い結果を毎年得られている。生徒が自主的に動いて学ぶ形式を取ることが高校生においては楽しみであり、充実感が大きくなるのだと考える。</p> <p>高校3年生①</p> <p>音楽理論は音程、調、音階、楽語など少しずつ専門分野の学習を進め、小テストなども行っている。音楽鑑賞では、著名な音楽家の生家やその曲に関わる国・土地・人物などが映像に写っているビデオを使用したり、YouTubeからの映像から学んでいる。いつでもどこでも世界と繋がることが出来ることにより、世界観が広がる。自己表現に至っては、高校1年生・2年生の経験を踏まえ、高校3年生では、題材をも自分たちで決定し、そのパフォーマンスに向けて必要なもの・事を考え実践させている。</p> <p>実践例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら楽器を創作し、創作した楽器とピアノ・キーボード・リコーダー、家庭から持ち寄った楽器類で「情熱大陸」や「アニメーション」の曲を演奏。</li> <li>・自分たちが編曲した曲をミュージックベルで演奏</li> <li>・高校2年生の時のミュージカルでの達成感が大きかったことで、「オズの魔法使い」や「アリエル」などディズニーの曲を題材にしたミュージカルを上演する。</li> </ul> <p>基本的にはクラス単位で演奏、または合併クラスのチーム内でチームを組んで練習・発表を行う。今までの経験を生かしてさらなる演奏の向上をめざすことはもとより、大道具や小道具、演出など、自主的に取り組み、よりよいパフォーマンスに繋げている。これらは学習計画を生徒自身が立てられるように指導し、ワークシートに記入させ、自己・チームの練習成果、問題点などを考えさせ、次回までに問題解決できるように準備を行う。発表後にはチームで貢献した生徒をピックアップし、教師からは見えない努力した生徒を知ることできる。まとめ、振り返りシートに感想を書くことで、次年度の自己表現の授業に生かせる反省材料にすることができる。演奏発表のすべてを録画し、後に音楽選択者のクラスで鑑賞、お互いの学習に役立てている。また後輩たちの良き見本となってい</p>

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
10. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～高校3年生② 歌唱・合唱の学び	2006年から現在	<p>る。歌唱力は日々向上していることで、演奏レベルに関しても高くなっている。特にコーラス部の部員が歌唱指導、合唱指導を行うことで、良い発声・発語に繋がり、演奏自体を高いレベルに引き上げている。</p> <p>高校3年生②</p> <p>合唱は高校1年生時より女声合唱に取り組んでいるが、外部からの生徒もいるため、比較的簡単な旋律、美しいメロディであるアカペラの曲に取り組み、修学旅行など学年の前で演奏をしている。学習の成果を披露する場を設けることで、学習の効果はより向上する。ただし、コロナのこの3年は、合唱に消極的になる傾向があったが、本来合唱の好きな学年は、今年度、マスク着用・ソーシャルディスタンスの上、ドア・窓全開で短時間だが歌うことに取り組んだ。</p>
11. 授業での取り組み～思春期に生きる力を～中学3年間の一貫した取り組み	1980年から現在	<p>中学3年間の一貫した取り組み</p> <p>合唱は個人個人が自信を持って歌えるように指導することが基本である。歌うことが不得意な生徒もいるが、どんな小さな声でも音程を合わせることが出来れば（反復訓練による）自信を持ち歌えるようになる。自信を持たせることがやる気を生む。声量を持った生徒がいれば、より良い発声を教え、皆のお手本になるように育てていくことでリーダーとしての心も育っていく。歌える生徒が歌えない生徒を指導し友情が育つ。和が生まれる。楽器が自分の身体なので自分を大切に。相手を思いやる心が育つ。和を崩す生徒がいたら、徹底的に取り組み解決に向かう。問題を起こす生徒は必ず心に問題を抱えているため、愛情を持って育てる。「問題のある子ほど可愛がれ」私の座右の銘である。そして繰り返すが、「子どもはどんな子も、伸びたい、知りたい、うまくなりたい、出来るようになりたいのだ。」ということ教師は知らなければならぬ。そのために諦めず実践しなければならぬ。</p>
12. 授業での取り組み～子どもの持つ伸びる力を引き出す～中学1年生 歌う喜び・音楽の楽しさを知る	1980年から現在	<p>中学1年生</p> <p>音楽の授業が楽しい！と思える授業作りを心がける。歌うための正しい姿勢・口の動き・目線・発声などを教える。声を出すことに恥ずかしさを感じたり、抵抗する生徒もいるが、まず校歌など斉唱の曲を取り上げ、正しい発声について体感できるように指導する。正しい音程・正しいリズム・笑顔で口を開けて大きな声で歌うことの楽しさを体感させる。また良い発声をする生徒を褒め、パートリーダーとして育てる。また中学生になったことで変声期を迎える準備をさせなくてはならない。（女子にも変声期はある）音楽理論も一歩進んだ勉強に取り組ませる。楽譜から感じ取るものが知識や理論によって裏打ちされたものであることで、より深く理解でき、音楽に対する興味も深くなる。しかし大切なことは、生徒たちが「音楽が楽しい！」と思えるようにすることである。音楽がどのようなジャンルであっても、その生徒にとっては楽しい世界である、ということ忘れてはならない。音楽は自己表現である。話す言葉や文章や絵画と同様、自分を表現する一つの手段である。人前で話すことが苦手でも、歌なら歌える、リコーダーなら吹ける、という生徒もいる。人前で演奏をすることが苦手であっても、テストの時にクラスの生徒の前で演奏をすることによって（何度かそのチャンスを与えることによって）舞台度胸がつき、1年後には人前で演奏することに慣れ、さほど苦痛でなくなり、皆の前で話すことができるようになった生徒も多くなった。合唱は2部合唱に取り</p>

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
<p>13. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～人生で最も身体の急成長期である14歳</p>	<p>1980年から現在</p>	<p>組ませる。                      中学2年生                      男子生徒のほとんどが変声期を迎え、中学1年生の時にアルトパートで歌っていた男子は、テノールというパートに移りたがる。彼らの気持ちを尊重して、男性というプライドを傷つけないようにしなければならない。変声期は身体も急成長して、精神的にも肉体的にも不安定な時期であることが多い。中学2年生が人生で最も身体の急成長の時期であるため、特に男子生徒には気を配らねばならない。女子生徒も同じく、人からどう思われているか、どのように見られているのかをととても気にする思春期真っ只中であるので、教師としての言動行動に注意が必要である。歌唱力が少しずつ向上し始め、声量なども上がってくる。器楽に関してもリコーダーの運指を覚えることができるようになり、簡単なアンサンブルを複数人で楽しむことができるようになる。音楽家について調べ学習をレポートにまとめるだけでなく、それを現在ではiPadとテレビを繋いで、パワーポイントで発表したり音楽を流したりして、音楽家について関心を持たせている。他の生徒の調べた曲や時代背景などの発表も興味深く聞き、学んでいる。合唱は3部合唱に取り組ませる。音楽理論は中学1年生の基礎を元に、少しずつ新しい知識を与えている。</p>
<p>14. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～</p>	<p>1980年から現在</p>	<p>中学3年生①                      公立中学校では男子女子生徒とも、最高学年であるという自覚が強く、中学3年生になると自分たちで考えて行動できるようになる。まず合唱ではパートリーダーが絶対的な存在感を持つようになる。指揮者、伴奏者も同様、クラス合唱の中心的存在で、パートリーダーと共にクラス・学年の中心的存在になる。合唱コンクールの運営、進行なども自分たちで執り行う力がついてくる（教師は生徒がそうしたことができるよう3年間で育てなければならない）。自分たちの行事は自分たちの手で作り上げる、という喜びと仲間との協力・協調を行事を通して実践し学んでいくのである。そのようにして、生徒の自主性を育て、社会の中で自立していく力を育てていくことが、義務教育の重要な点である。合唱の特長はなんといっても、仲間との協力の上でなり立っているということ。一人では絶対に出来ないことであり、同じ時間と場所を共有し仲間と作り上げる喜びを知ることができるものであるということであろう。音楽史や音楽家のことを学び、世界の音楽に触れ、また日本の音楽との違いも学び、世界観が広がる。楽典も調や楽語の学びの内容の広がりにより、生徒は楽曲分析を少しずつ出来るようになった。</p>
<p>15. 授業での取り組み～自己表現のための一つの方法が音楽～</p>	<p>1980年から現在</p>	<p>中学3年生②                      合唱に関しては3部合唱を基本とするが、クラスによっては4部合唱にも取り組む。曲目は全国コンクールで取り組むような難曲にも挑戦し、公立中学校時代にはMBS子ども音楽コンクール、NHK全国学校音楽コンクール、市内の公立中学校対抗の合唱コンクールにも参加し、好成績をあげた。また、クラブとして活動はしていなかったが学年で合唱をやりたい生徒を募ると、120名（学年の約3分の一）からの生徒が一同に集まった。昼休みだけの練習であったが「エトピリカ」など難曲にも挑戦し、尼崎市立中学校が一同に22校集まった合唱コンクールにおいて、アルカイックホールで披露した。生徒は合唱に対する関心を高く持つように</p>

教育上の能力に関する事項

事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
<p>16. 子どもの持つ伸びる力を引き出す～(歌う喜びを知り仲間と協調・協力する喜びを味わう)～生きる力に繋げる</p>	<p>1980年から現在</p>	<p>なった。そして、合唱で感動することを体験し、歌う喜びを身体全体で味わうことができるようになった。それらは卒業式の時に顕著に表れ、感動的な卒業式を何度も経験した。彼らは今でもその時の卒業式の感動を覚えており、その後（50歳を超えてもなお）、あの卒業式以上の卒業式は経験出来なかった、と伝えてくれた。合唱の実力は高く、歌うことが得意になった生徒も多い。そして音楽を自分の将来の仕事や趣味にする生徒も多くみられた。それらは生涯教育にも発展すると考える。</p> <p>公立中学校では、各個人の異なる生活水準や抱える問題の差が大きく、学校や社会に対する不信心、大人に対する不信心を抱く生徒が多くいた。家庭環境にも大きな違いがあり、経済的にも生活困難な生徒が多くいたため、心に抱える悩み・苦しみは我々が考えているよりも遥かに大きなものであった。その中で文科省からの共通の学習指導要領の内容を各個人に指導することは1980年ごろは大変困難であった。ましてや教室に入ることすらしない生徒たちをどのように授業に取り組ませ、音楽で心を育てていくか、という問題に頭を悩ませた。</p> <p>まずはじめに、各個人の能力をアップをさせることに力を注いだ。なぜなら、子どもは誰でも、「知りたい・できるようになりたい」と思っているからである。どうすれば歌がうまくなるのか、美しい声になるのか、音程がとれるようになるのかを念頭に個人個人にその子の長所を伝え、改善点を指示し指導した。日を重ねるごとに上達していく様子を目の当たりにし、生徒との信頼関係が構築されていった。やがて合唱曲に取り組み、ハーモニーの美しい音を体感していくと、合唱する喜びを感じ、さらにうまくなりたいとの思いが芽生え、クラスの合唱コンクールに必死に取り組む姿が見られるようになった。合唱練習に熱が入りすぎて、不真面目に練習する男子生徒を一喝する生徒も現れ、やがて彼らは学年を引っ張っていくリーダーに成長した。培った力はその後の人生の様々な場で発揮されると考える。</p>
2 作成した教科書、教材		
<p>1. オンライン教材</p> <p>2. INEW HIT CHOKUS ニューヒット ーラス 女声版 改訂版 コーラス ニュー 音楽之友社</p> <p>3. 音楽理論のための練習問題</p> <p>4. 自己評価のための計画・反省シート</p>	<p>2020年から現在</p> <p>2014年1月14日発行</p> <p>1990年から現在</p> <p>1980年から現在</p>	<p>コロナ禍でのオンライン授業のための教材作成。パワーポイント、動画、楽譜、音楽用語などの問題、また音楽科や演奏についてなど、YouTubeの動画から選定。また、複数の教師によりアルトリコーダー、重唱の動画を作成。</p> <p>音楽之友社より依頼を受け、主として中学校、高等学校、専門学校のクラス授業や校内合コンクール及び、クラブ活動などに活用できる女声合唱のためのレパートリー集として、最適な作品を数多く編集するために協力した。</p> <p>編集協力者          岡本尚子（武庫川女子大学附属中学校・高等学校教諭）          柴田由美（豊島岡女子学園中学校・高等学校教諭）          速水正子（四天王寺中学校：高等学校教諭）          宮沢雅子（大妻中野中学校・高等学校教諭）（五十音順）</p> <p>特に音程・調・楽語のテスト形式プリント。時には小テストとしたり、授業の中で生徒同士、お互いに教え合う教材とする。生徒は積極的に取り組む。</p> <p>各個人の自己表現発表の際に、手紙方式で演奏者全員に書かせ、演奏者の手元に届く仕組み、よかった点、</p>

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
		改善点などが記入されている。感動した気持ちや励ましの言葉なども書くことにしている。また自己表現の練習のたびに、練習経過と成果、問題点とその解決について自分の反省点を書いていく。その授業の振り返りとともに次回の授業の計画表にもなる。先を見据えて企画・進行を考える手立てとする。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 海外公演引率（附属高等学校コーラス部）及び国際コンクール	2007年3月～2019年3月	2007年より2019年までの春に、2年に1度のペースで海外公演を行った。（ハンガリー・アメリカ・オーストリア・マレーシア・ドイツ）そして2017年と2019年にはアイルランドとスペインでの国際合唱コンクールに出場。アイルランドでは総合4位（一般の部）、スペインではグランプリ（総合第1位）を受賞した。同じく2018年1月には日本で行われた国際コンクールで高校は優勝、中学は準優勝に輝いた。
4 その他		
1. 合唱指導	2023年9月	伊丹市コーラスグループ連絡協議会、いたみ文化・スポーツ財団、伊丹市より合唱指導講師として派遣依頼を受けた。「楽しい合唱講習会」と題して、子供から大人まで、教育者も含めて多くの方を指導。
2. 和歌山県音楽教育連盟 夏期研修会講師	2023年8月	和歌山県教育委員会より、「小学校・中学校教諭の合唱指導について」 合唱指導における基本（姿勢・発声法・発音・曲の表現における具体例）を小・中・高校の教諭及び合唱指導者に指導。
3. 尼崎市教育委員会からの講師依頼	2022年12月	公立中学校教諭としての体験談及びクラブ指導において、現役教師からの質疑応答。
4. 合唱指揮	2021年11月	中村哲氏追悼コンサート・平和を願うコンサート（チャリティーコンサート）
5. チャリティー講演&コンサート（河原尚行医師）	2020年12月	河原尚行医師（スーダンで活躍中）による講演・チャリティーコンサートを開く。関西地区の全国大会出場校8校（小・中・高の学校）を招聘し、コンサート形式で行う。アフガンコンサート委員会と武庫川中高コーラス部で企画、運営。
6. 中村哲先生（医師）を招聘、合唱披露	2020年8月	武庫川学院創立80周年記念講演（附属中学校・高等学校の記念講演）（中村哲医師を招聘し附属中高生全員、ベジャワール会員、地域の方々に講演を広め、コンサートにも繋げた）
7. 選考委員（審査員）	2019年5月	京都府合唱連盟主催 府合唱コンクール お母さん大会
8. 選考委員	2017年6月	兵庫県合唱連盟主催 お母さん大会（全国大会に進む大会）
9. 合唱指導	2016年10月	川西市のはざま中学校にて学年合唱指導を行った。学校長からの依頼を受けた。
10. 合唱指導	2015年11月	阪神間の小・中学校の教員対象の合唱指揮（阪神教育事務所より依頼された）
11. 審査員	2015年8月	奈良県合唱連盟主催 県合唱コンクール
12. 合唱指揮	2012年から2019年12月	県立尼崎病院（現在は県立尼崎総合医療センター）において、入院患者さんのためクリスマスロビーコンサート・小児科内クリスマスコンサート
13. 合唱指揮・指導	2010年から2012年5月	フィリピンのストリートチルドレンを支援するチャリティーコンサートに参加。これをきっかけに、ボランティア コンサート、チャリティ コンサート に参加が増える。
14. 武庫川学院庶務	2008年から2023年3月	庶務として音楽教室の問題点を掘り起こし、規約改正をはじめ、改善すべき点を室長、運営委員とともに改善していった。
15. 合唱指導法の講師として	2000年11月	尼崎市内の小・中・高等学校の教員対象に合唱指導（尼崎市教育委員会より依頼を受ける）



職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 高等学校教諭二級普通免許 2. 中学校教諭一級普通免許		
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 兵庫県私学連合音楽部会副会長 2. 武庫川学院音楽教室 庶務 3. 兵庫県私学連合音楽部会実行委員 4. 兵庫県合唱連盟理事 5. 阪神地区音楽科研究会理事 6. 尼崎市立中学校音楽科研究会理事	2016年4月～2023年3月 2008年4月～2023年3月 2006年4月～2023年3月 2002年から現在に至る 1995年から2006年 1993年から2006年	
<b>4 その他</b>		
1. 合唱指揮・指導	2023年10月28日	第76回全日本合唱コンクール全国大会 於；香川県レクザムホール 高等学校コーラス部：（10/28 予定）
2. 合唱指揮・指導	2023年10月8日	第76回関西合唱コンクール 於；いたみホール 大学 コーラス部：金賞
3. 合唱指揮・指導	2023年9月	第76回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 高等学校コーラス部：金賞
4. 合唱指揮・指導	2023年9月	第90回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大会 於；NHK大阪ホール 高等学校：銀賞
5. 合唱指揮・指導	2023年8月	第76回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 高等学校：金賞
6. 合唱指揮・指導	2023年8月	第90回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；加古川市民会館ホール 高等学校：金賞
7. 合唱指導	2023年3月	附属高等学校卒業式 式典 式歌 於；公江記念講堂（マスクをして歌う）
8. 合唱指導	2023年2月	兵庫県アンサンブルコンテスト HYOVEC2023 於；うはらホール 高校2年：金賞 青少年の部第2位 神戸市長賞、高校1年：金賞 青少年の部第3位 教育芸術賞、中学3年：金賞、 中学2年：金賞、 中学1年：金賞
9. 合唱指導	2022年12月	兵庫県私学連合音楽会に出演 於；神戸国際会館こくさいホール
10. 合唱指導	2022年11月	クリスマス点灯式（クリスマスコンサート） 於；中高キャンパス（セミナー棟）
11. 合唱指揮・指導	2022年10月	第75回全日本合唱コンクール全国大会 於；リンクステーションホール青森 高等学校：金賞
12. 合唱指揮・指導	2022年10月	第89回NHK全国学校音楽コンクール全国大会 於；東京渋谷NHKホール 中学校：優良賞
13. 合唱指揮・指導	2022年9月	第75回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：銀賞 高等学校：金賞
14. 合唱指揮・指導	2022年9月	第89回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大会 於；NHK大阪ホール 中学校：金賞 高等学校：銀賞
15. 合唱指揮・指導	2022年8月	第75回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
16. 合唱指揮・指導	2022年8月	第75回兵庫県合唱コンクール県大会 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール
17. 合唱指揮・指導	2022年8月	第89回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；加古川市民会館ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
18. 合唱指導	2022年6月	サマーコンサート（附属中高の4つのクラブが共同で行うコンサート） 於；公江記念講堂（中・高それぞれで演奏）
19. 合唱指導	2022年6月	兵庫県合唱連盟 合唱祭に出演 於；いたみホール（中高別々）

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
20. 合唱指揮・指導	2022年5月	鳴松会での演奏 於；公江記念講堂（中・高・中高合同）
21. 合唱指導	2022年5月	附属中学校・高等学校 武庫川フェスティバルで出演 於；中高キャンパス
22. 合唱指導	2022年4月	新入生勧誘ミニコンサート 於；中高キャンパス 前庭・音楽室
23. 合唱指導	2022年4月	附属中学校・高等学校入学式 式典 音源で参加 於；公江記念講堂
24. 合唱指揮・指導	2022年3月	声楽アンサンブルコンテスト全国大会に出場権を得たが、出発の2日前の地震により中止。そのため、「高校3年生だけによるコンサート」を行った。 於；京都 桂にある会館
25. 合唱指揮・指導	2022年3月	第18回附属中学校・高等学校コーラス部音楽会（定期演奏会） 於；公江記念講堂 コンクール曲、中高別 ミュージカル、中高合同ミュージカル「オペラ座の怪人」 朝日放送が半年間密着取材。テレビで放送された。（雨のち晴れ） YouTube でも発信されている。
26. 合唱指導	2022年3月	ふれあうポーランド（滋賀大学からの出演依頼） 於；ウイングス京都 リモートでポーランドの合唱団および滋賀大学の学生と高校コーラス部とのとディスカッション、合唱披露
27. 合唱指導	2022年3月	附属高等学校卒業式 音源で参加 於；公江記念講堂
28. 合唱指導	2022年2月	兵庫県アンサンブルコンテスト HYOVEC2022 於；うはらホール 高校2年：金賞 青少年の部第2位 神戸市長賞、高校1年：金賞 青少年の部第3位 教育芸術賞、中学3年：金賞、中学2年：金賞、 中学1年：銅賞
29. 合唱指導	2022年1月	あじさいコンサート「ザ ファイナル」 於；神戸文化大ホール
30. 合唱指導	2021年11月	クリスマス点灯式（クリスマスコンサート） 於；中高キャンパスセミナー棟（飾り付け昨年からコーラス部）
31. 合唱指揮・指導	2021年11月	中村哲医師、追悼コンサート（2019年12月4日没） リモート参加 於；公江記念講堂にて撮影（アフガンコンサート委員会よりYouTubeに上げる）
32. 合唱指揮・指導	2021年11月	兵庫県総合文化祭に招待演奏として出演
33. 合唱指導	2021年11月	ジョイントコンサート（附属中学校・高等学校の4つのクラブの共同コンサート。サマーコンサートの代わり） 於；公江記念講堂
34. 合唱指揮・指導	2021年11月	第88回NHK全国学校音楽コンクール全国大会 於；東京渋谷NHKホール 中学生：優良賞
35. 合唱指揮・指導	2021年10月	第74回全日本合唱コンクール全国大会 於；大分 iiichikoホール 中学校：金賞 高等学校：銀賞
36. 合唱指揮・指導	2021年9月	第74回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
37. 合唱指揮・指導	2021年9月	第88回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大会 於；NHK大阪ホール 中学校：金賞 高等学校：銀賞
38. 合唱指揮・指導	2021年8月	第74回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
39. 合唱指揮・指導	2021年8月	第88回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；明石市民会館大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
40. 合唱指導	2021年6月	附属中学校・高等学校 武庫川フェスティバルで出演

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
41. 合唱指揮・指導	2021年3月	於；中高キャンパス 第17回附属中学校・高等学校コーラス部音楽会（定期演奏会） 於；公江記念講堂
42. 合唱指導	2021年3月	附属高等学校卒業式 式典 音源で参加 於；公江記念講堂
43. 合唱指導	2021年2月	兵庫県アンサンブルコンテスト HYOVEC2021 於；うはらホール 高校2年：金賞 少年の部第2位 神戸市長賞、高校1年：金賞 青少年の部第1位 兵庫県知事賞（一般の部を含めて第1位）、 中学3年：銀賞、 中学2年：金賞、 中学1年：銀賞
44. 合唱指導	2020年12月～2021年3月	アイルランド、ケニア、ハンガリー、マレーシア、日本の5カ国によるリモート合唱 それについて英語でのリモート会議の提案、司会進行など武庫女コーラス部が先導。リモートに関する選曲、音源作成、楽譜作成、歌詞入れ など附属高校コーラス部がすべて作成。送られてきたリモート音源を一つにまとめることも本校が行った。YouTube にホームページから上げた。朝日新聞にも取り上げられた。さらにテレビ局にも取り上げられ放送された。
45. 合唱指揮・指導	2020年11月	附属中学校・高等学校 ジョイントコンサート（オーケストラ・箏曲・マーチン・コーラスの4つのクラブによるサマーコンサートの代わり） 於；公江記念講堂
46. 合唱指揮・指導	2020年9月	兵庫県合唱コンペティション 於；グリーン神戸アリーナ 中学校：金賞 及び 審査員特別賞、 高等学校：金賞 審査員特別賞
47. 合唱指導	2020年9月	全国高校野球選手権大会（優勝旗返還式典に国歌・大会歌 合唱・斉唱のため参加（招待演奏） 於；甲子園球場 朝日新聞に掲載される。
48. 合唱指導	2020年8月	兵庫アンサンブルコンクール（一般も含む） 於；兵庫県立芸術文化センター小ホール 高校3年：第2位、 高校2年：第3位、 高校1年：第5位
49. 合唱指揮・指導	2020年6月～2020年11月	ケニア、マレーシア、日本の3カ国でリモート合唱 生徒が音源、楽譜、リモートを作成し YouTube にホームページより上げる。3カ国でリモート会議にも参加。朝日新聞で紹介される。
50. 合唱指揮・指導	2020年3月	第16回附属中学校・高等学校音楽会（定期演奏会） 於；公江記念講堂
51. 合唱指導	2020年3月	附属高等学校卒業式 式典 音源で参加 於；公江記念講堂
52. 合唱指導	2020年2月	兵庫県アンサンブルコンテスト HYOVEC2020 於；うはらホール 高校2年：金賞 青少年の部 第1位 兵庫県教育委員会賞、高校1年：金賞 青少年の部 第2位 神戸市教育委員会賞、 中学3年：銀賞、 中学2年：金賞、 中学1年：銀賞
53. 合唱指導	2020年1月	第24回 あじさいコンサート 於；神戸文化大ホール
54. 合唱指揮・指導	2019年12月	兵庫県立尼崎総合医療センター（ボランティア慰問演奏）クリスマスコンサート 於；ロビー、小児病棟
55. 合唱指導	2019年12月	兵庫県私学連合音楽会出演 於；神戸国際会館こくさいホール
56. 合唱指揮・指導	2019年12月	河原尚行医師を迎えて「平和を願う講演会&コンサート」 関西地区の全国大会出場の小・中・高等学校を招聘し、『アフガン委員会』とともにコンサートを企画・運営した。集った学校9校 於；公江記念講堂
57. 合唱指導	2019年11月	附属中学校・高等学校クリスマス点灯式での演奏 於；中高キャンパス
58. 合唱指揮・指導	2019年11月	武庫川学院創立80周年記念式典での演奏 於；公江記念講堂

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
59. 合唱指揮・指導	2019年11月	第86回NHK全国学校音楽コンクール全国大会 於 ；東京渋谷NHKホール 高等学校：優良賞
60. 合唱指揮・指導	2019年10月	第72回全日本合唱コンクール全国大会 於；岡山シ ンフォニーホール 中学校：金賞 高等学校：金 賞
61. 合唱指揮・指導	2019年9月	第72回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化 センター大ホール
62. 合唱指揮・指導	2019年9月	中学校：金賞及び 関西理事長賞、 高等学校：金賞 第86回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大 会 於；NHK大阪ホール 中学校：銀賞 高 等学校：金賞
63. 合唱指揮・指導	2019年8月	武庫川学院創立80周年記念講演会（附属中高）に先立 ち招待演奏（百年後）（中村哲氏を招聘することに 尽力・講演「命の水」）
64. 合唱指揮・指導	2019年8月	第72回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文 化センター大ホール
65. 合唱指揮・指導	2019年8月	中学校：金賞 高等学校：金賞 第86回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；姫路文化センター 中学校：金賞 高等学校 ：金賞
66. 合唱指導	2019年6月	附属中学校・高等学校 武庫川フェスティバルに出演  於；中高キャンパス
67. 合唱指揮・指導	2019年5月	2019年度Nコン モデル合唱団として出演 於；四 天王寺女学院
68. 合唱指揮・指導	2019年4月	第9回コーラスめっせ において、全日本合唱コンク ールの課題曲講習会のモデル演奏（松本望氏：ゆき） 於；ビジネスタワーツイン21
69. 合唱指揮・指導	2019年4月	附属中学校・高等学校新入生歓迎演奏会・ミニコン サート 於；中高キャンパス
70. 合唱指揮・指導	2019年4月	オリックス開幕戦に於いて国歌合唱（招待演奏） 於 ；京セラドーム
71. 合唱指導	2019年4月	附属中学校・高等学校入学式 式典 式歌 於；公 江記念講堂
72. 合唱指揮・指導	2019年3月	スペイン「 GOLDEN VOICES OF MONTSERRAT 」 （モンセラ黄金の歌声）コンクール 於；スペイン リョレト デ マール市、モンセラート 高等 学校：グランプリ（総合第1位）
73. 合唱指導	2019年3月	附属高等学校卒業式 式典 式歌 於；公江記念講 堂
74. 合唱指揮・指導	2019年2月	第15回附属中学校・高等学校コーラス部音楽会（定期 演奏会） 於；公江記念講堂
75. 合唱指導	2019年1月	第23回あじさいコンサート 於；神戸文化大ホール
76. 合唱指揮・指導	2018年12月	兵庫県立尼崎医療センターでクリスマスコンサート （招待演奏） 於；ロビー 及び 小児科病棟
77. 合唱指導	2018年12月	兵庫県私学連合音楽会 出演
78. 合唱指揮・指導	2018年12月	附属中学校・高等学校 クリスマスコンサート 於 ；中高キャンパス
79. 合唱指揮・指導	2018年11月	平和を願うコンサート 於；神戸栄光教会（招待 演奏）
80. 合唱指揮・指導	2018年10月	第71回全日本合唱コンクール全国大会 於；長野県 ホクト文化ホール 中学校：銀賞 高等学校：銀賞
81. 合唱指揮・指導	2018年10月	第85回NHK全国学校音楽コンクール全国大会 於 ；東京渋谷NHKホール 高等学校：優良賞
82. 合唱指揮・指導	2018年9月	第71回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化 センター大ホール
83. 合唱指揮・指導	2018年9月	中学校：金賞 高等学校：金賞 第85回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
84. 合唱指揮・指導	2018年8月	会 於；NHK大阪ホール 中学校：銀賞 高等学校：金賞 第71回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞、 高等学校：金賞 半年間、中学生にNHKが密着取材。
85. 合唱指揮・指導	2018年8月	第85回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；姫路文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
86. 合唱指揮・指導	2018年7月	兵庫県政150周年記念式典で演奏 於；神戸国際会館こくさいホール (招待演奏)
87. 合唱指導	2018年6月	附属中学校・高等学校サマーコンサート 於；公江記念講堂
88. 合唱指揮・指導	2018年5月	附属中学校・高等学校武庫川フェスティバル 於；中高キャンパス
89. 合唱指揮・指導	2018年4月	第8回コーラスめっせ 於；ビジネスタワーツイン21
90. 合唱指揮・指導	2018年4月	オリックス開幕戦 国歌合唱 於；京セラドーム
91. 合唱指揮・指導	2018年4月	附属中学校・高等学校入学式 式典 式歌 於；公江記念講堂
92. 合唱指揮・指導	2018年2月	附属高等学校卒業式 式典 式歌 於；公江記念講堂
93. 合唱指揮・指導	2018年2月	第14回附属中学校・高等学校コーラス部音楽会(定期演奏会) 於；公江記念講堂
94. 合唱指揮・指導	2018年1月	SING`N` PRAY KOBE 国際コンクール 高等学校：優勝 中学校：準優勝
95. 合唱指揮・指導	2018年1月	あじさいコンサート 於；神戸文化大ホール
96. 合唱指揮・指導	2017年12月	兵庫県立尼崎総合医療センターでのクリスマスコンサート 於；ロビー、小児科病棟
97. 合唱指導	2017年12月	兵庫県私学連合会音楽会 於；神戸国際会館こくさいホール
98. 合唱指揮・指導	2017年12月	クリスマス点灯式 於；中高キャンパス
99. 合唱指揮・指導	2017年10月	第70回全日本合唱コンクール全国大会 於；大阪フェスティバルホール 中学校：金賞 高等学校：銅賞
100. 合唱指揮・指導	2017年10月	第84回NHK全国学校音楽コンクール全国大会 於；東京渋谷NHKホール 中学校：銅賞 高等学校：優良賞
101. 合唱指揮・指導	2017年9月	第70回関西合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
102. 合唱指揮・指導	2017年9月	大84回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロック大会 於；NHK大阪ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
103. 合唱指揮・指導	2017年8月	第70回兵庫県合唱コンクール 於；兵庫県立芸術文化センター大ホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
104. 合唱指揮・指導	2017年8月	第84回NHK全国学校音楽コンクール兵庫県大会 於；明石市民アワーズホール 中学校：金賞 高等学校：金賞
105. 合唱指揮・指導	2017年7月	サマーコンサート 於；公江記念講堂
106. 合唱指揮・指導	2017年7月	兵庫県合唱祭 出演 於；いたみホール
107. 合唱指揮・指導	2017年5月	文化部発表会 於；附属中高キャンパス
108. 合唱指揮・指導	2017年4月	国際合唱コンクール アイルランド「コーク コーラル フェスティバル」 於；アイルランド コーク市、キルケニー、ダブリン、総合4位
109. 合唱指揮・指導	2017年4月	第7回コーラスめっせ 出演 於；いずみホール
110. 合唱指揮・指導	2017年4月	附属中高入学式 式典 式歌 於；公江記念講堂

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. NEW HIT CHORUS ニューヒットコーラス 女声版 改訂版 CHORUS AVENUE コーラスアベニュー 音楽之友社	共	2014年1月 31日発行(第7刷)	音楽之友社	音楽之友社より依頼を受け、主として中学校、高等学校、専門学校のクラス授業や校内合唱コンクール、及び、クラブ活動などに活用できる女声合唱のためのレパートリー集として、最適な作品を数多く編集するために協力した。 編集協力者 岡本尚子(武庫川女子大学附属中学校・高等学校) 柴田由美(豊島岡女子学園中学校・高等学校教諭) 速水正子(四天王寺中学校・高等学校教諭) 宮沢雅子(大妻中野中学校・高等学校教諭)
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
<b>その他</b>				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2016年から2023年3月	兵庫県私学連合音楽部会副会長
2. 2008年4月～2023年3月	武庫川学院音楽教室庶務
3. 2006年から2023年3月	兵庫県私学連合音楽部会実行委員
4. 2002年から現在	兵庫県合唱連盟理事
5. 1995年から2006年	阪神地区音楽科研究会理事
6. 1993年から2006年	尼崎市立中学校音楽科研究会理事